



NPO 法人  
アダージョちくさ



## 就労継続支援 B 型 ワークルームぐるっぺ



ご案内

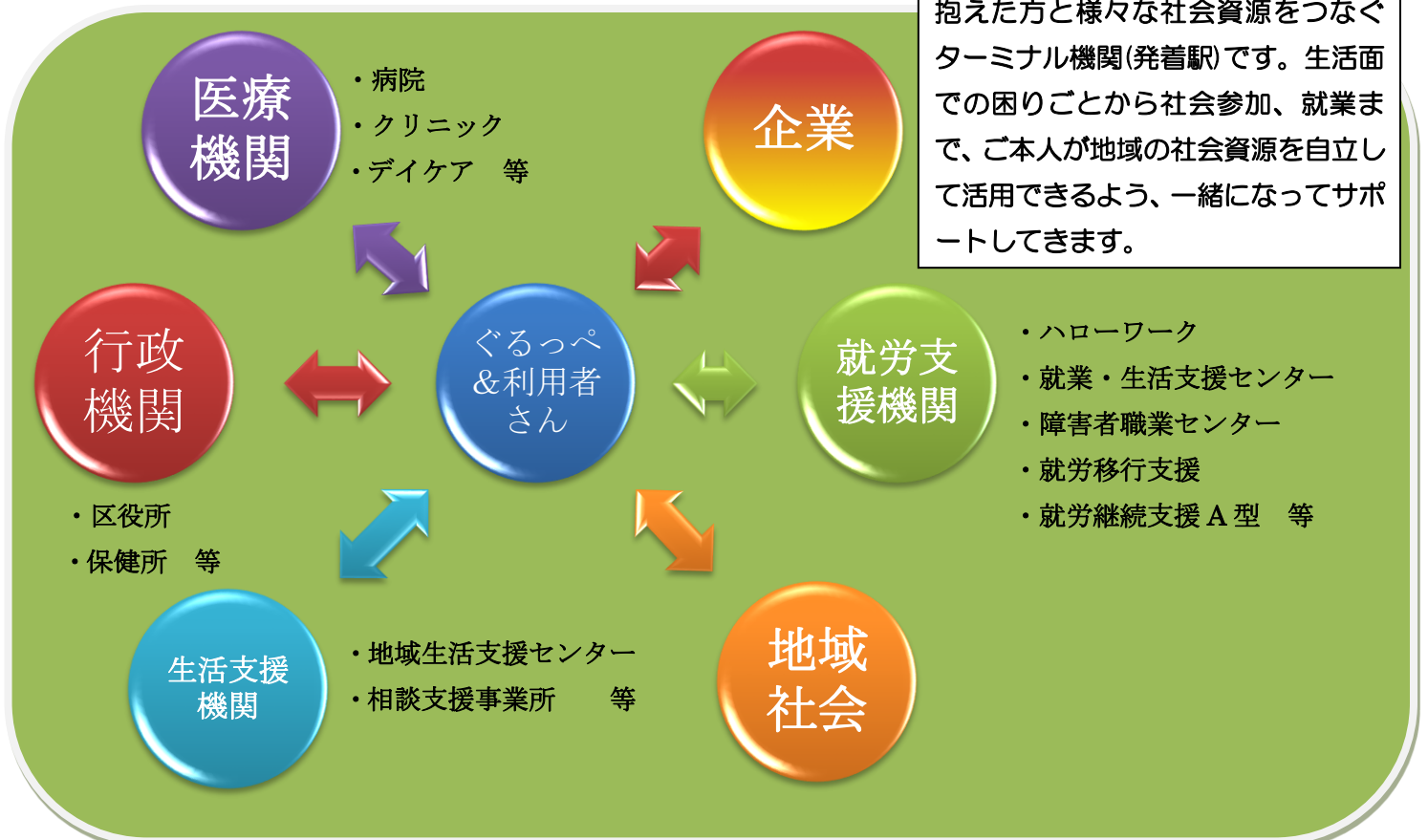
# 施設紹介

## ぐるっぺとは？

「ワークルーム・ぐるっぺ」は、主にうつ病や統合失調症といった精神疾患・精神障害にかかわる社会的課題を解決し、障害のある人もない人も誰もが地域で安心して暮らせる社会を築いていくことを目的としています。具体的には以下の二つの活動に分かれています。

1. 精神障害を持つ方に日中通所していただき、病気や障害に対する正しい知識や対応法の伝達、相談支援、日常生活支援、職業訓練、就職支援、等を行いご本人の自立生活をサポートします。
2. 精神疾患や精神障害に対する情報、ストレスの対処法に関する技術の伝達などをお伝えすることで、地域のメンタルヘルスに貢献します。

## ぐるっぺの役割



## 施設長挨拶



富田 倫弘

2005 年 4 月

日本福祉大学社会福祉学部卒業後、  
当事業所に入職。

- ・精神保健福祉士
- ・社会福祉士
- ・介護福祉士

高度経済成長以来、日本は先進国となり物質的に豊かになり、平和で住みやすい国となっているように思われます。しかしながら2011年の経済協力開発機構(OECD)による「国民の幸福度調査」では36ヶ国中21位と低く、また平成10年以降、年間の自殺者数は3万人を超え、仕事や家庭問題、人間関係などの軋轢の末に命を絶つ方は減ることがありません。今なお社会問題となっている引きこもりやうつ病などの精神疾患に罹患する方もまた増加の一途を辿っており、2011年7月にはついに厚生労働省が「ガン」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の4大疾病に続き「精神疾患」を「5大疾病」として位置づけました。

このように、精神疾患・精神障害は今や誰もが罹る可能性のあるものであり、今まさに心の健康を考える時代となっています。精神障害者の方は生真面目で責任感が強く、それ故に他人に気を使い過ぎて疲れてしまう・・・そのような優しさを持つ方が多いと私自身、皆さんと接する中で実感しています。

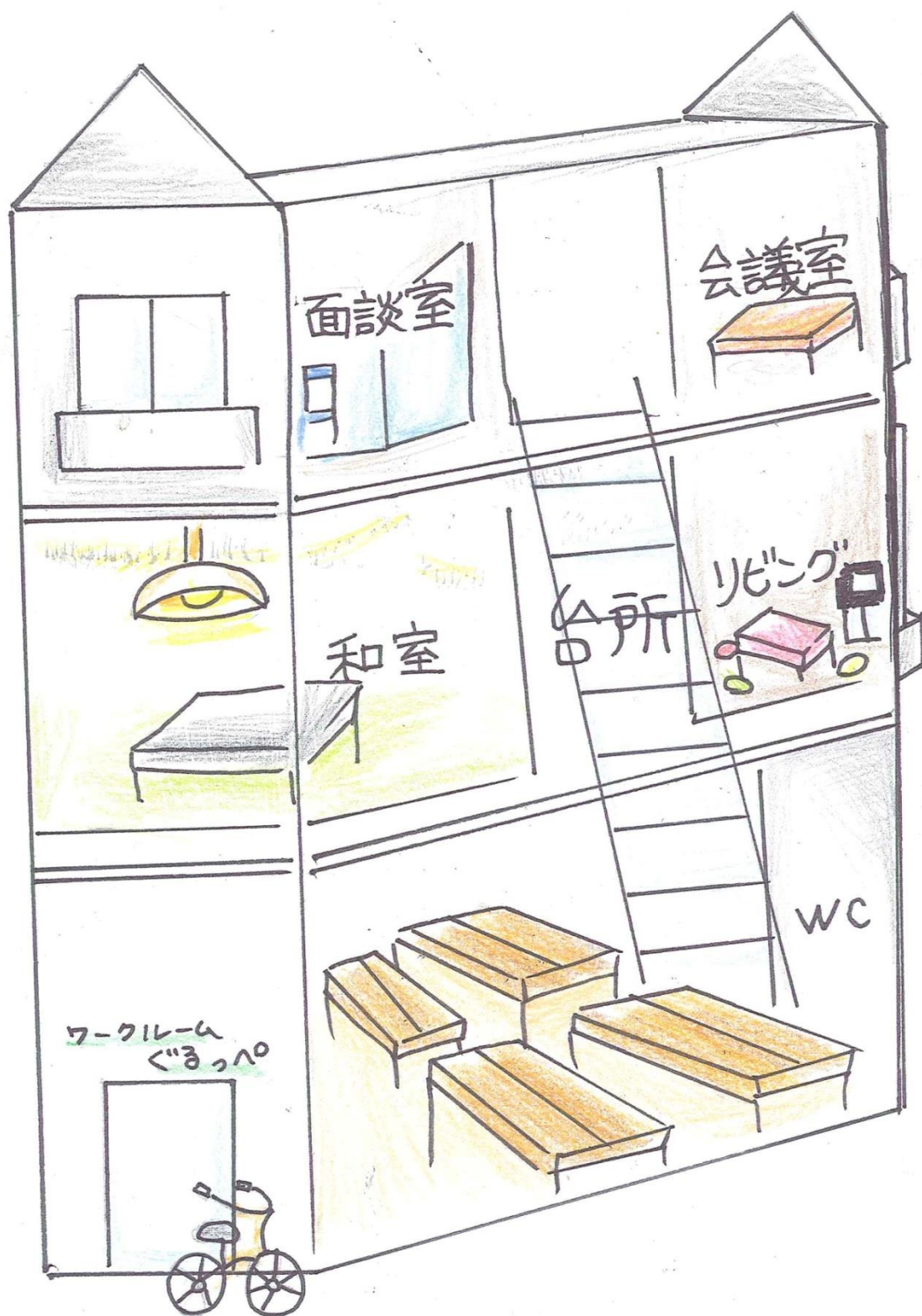
そしてまた彼らは、その優しさ故に社会の一員として世間の役に立ちたい、誰かの役に立ちたいとも願っています。ワークルームぐるっぺでは、心の病を抱えた方々と一緒に地域の役に立つ仕事を探し、地域の皆様との相互扶助の関係を模索していきます。

## 施設沿革

- 1986 年 4 月 保健所、地域医療機関、精神障害者家族等を中心として、千種区高見 1 丁目にて民間の精神障害者小規模作業所として活動開始。
- 2008 年 4 月 同じく千種区赤坂町に 1992 年より開所した精神障害者小規模作業所「工房さんりん舎」と共に特定非営利活動法人格を取得。
- 2008 年より 毎年一回、保健所、区役所、社会福祉協議会等の協力を得て、地域の方へ向けた「精神保健福祉講演会」を開催。
- 2012 年 8 月 施設拡大のため千種区仲田 1 丁目に移転。
- 2012 年 1 2 月 障害者自立支援法に規定された就労継続支援 B 型事業所へ移行。
- 2020 年 9 月 NPO 法人中部リサイクル運動市民の会と提携してチャリティー&リユースショップ「Re☆ショップなかた by ぐるっぺ」の運営を開始



# 事業所紹介



3F

2F

1F

## ☆1F Re☆ショップなかつ by ぐるっぺ(チャリティーショップ)



市民の方々からご寄付でいただいた「まだ使えるもの」「捨てるにはもったいないもの」を安価でお値打ちに販売しています。こじんまりしている分お客さんはみんな気さくに話しかけてきてくれたりします。バーコード貼りや商品陳列の他、レジ打ちや接客など、接客業の小売店で働くための訓練はひととおり練習できます！

## ☆2F リビング (多目的室)



主にみんなで昼食を食べる部屋です。昼食は調理員さんの手づくりで、テーブルを囲んでの食事はわいわい和やかで楽しい気分を味わえますよ。

## ☆2F 和室 (静養室)



新しい畳の匂いが穏やかな雰囲気を誘います。調子が悪くなった時は布団を敷いて休むこともできますよ。

## ☆3F 面談室&スタッフルーム



作業を行う 1F から離れているため、静かな空間でゆっくりと話をすることが出来ます。

## ☆3F 作業室 (多目的室)



会議だけでなく、様々な目的に活用できます。奥には広いベランダもあり植物を育てることなども出来ます。



# 訓練内容

## 作業訓練

主に内職等の軽作業等を通して仕事に従事するための集中力や忍耐力を鍛えたり、新規利用者の方に作業のやり方を教えること等を通し、他者との協働作業に必要な協調性や指導力等を養います。

チャリティーショップの運営では商品入れ替え以外にもタッチパネル式のレジ打ちやInstagramの更新など、最新の職業環境に適した実践的な訓練ができます。



◆割り箸の袋詰め◆



◆アカパッケン(風呂垢取)包装◆



◆インスタで商品の紹介◆



◆レジ打ち&お客様対応◆



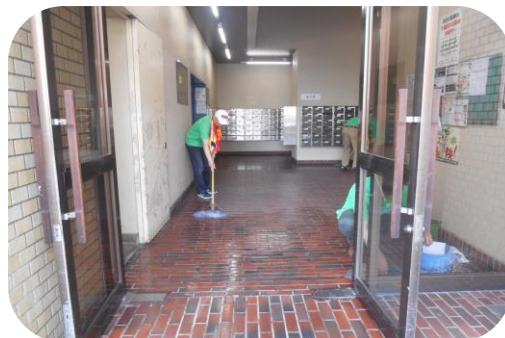
◆商品入れ替え&陳列◆

## 職業訓練

就労のための模擬訓練として、実際に職場でアルバイトを行う機会を提供します。スタッフも一緒に仕事を行うことで、本人の長所や短所、得意な分野や弱点分析などを行い、能力向上の指導等を行います。



◆出張コンビニサービス（独居高齢者宅の草むしりなどの有償ボランティア）◆



◆市営住宅の定期清掃アルバイト◆

## 自主製品製作

粘土で携帯ストラップを作るなど、手工芸品の自主製品を製作販売を行っています。内職作業と同じく指先のリハビリ等の訓練でもあり、出来た商品を地域のお祭りやバザーで販売するなどして自分でお金を稼ぐなど、経済的自立を促す職業訓練としての意味合いも持ちます。



◆キーホルダー◆



◆ハーバリウム等の作成◆

## 販売・接客

地域のお祭りでの模擬店出店や障害者バザーイベントでの自主製品販売など、様々なイベントへ出店し、接客による対人不安の克服や、お金の価値観等を学びます。

個人が趣味で作った作品なども、希望があれば同時に出品します。自分が作ったものが世の中に商品として売れていく、他人がお金を出して買ってってくれるという喜びから、新たな生きがいを見つけきっかけになることもあるでしょう。



◆仲田夏まつりでのバザー出店◆



◆区民祭りでの模擬店出店◆



# 生活支援・地域交流

生活上の様々な不安や悩みに対して、本人が自分で解決できるように側面的支援を行っていきます。また、様々なレクリエーションを体験することにより、新しいことにチャレンジする不安に慣れ、また生活に張り合いを持つための趣味などを見つけていただけるよう支援します。

## 生活訓練



◆みんなで協力して BBQ◆



◆ハウスクリーニング会社を招いての掃除教室◆

## 余暇支援



◆のんびりお花見◆



◆みんなで協力してのお菓子づくり◆

## その他



◆面談・履歴書作成指導等、相談支援◆



◆管理栄養士考案の日替わり昼食  
提供による健康管理(1食100円! )◆



# 社会参加活動

## 精神保健福祉講演会

ストレス対処の方法、精神障害の方との接し方やうつ病に対する理解を深めてもらうための自殺予防など、広くこころの病とその予防等についての知識や技術を、講演会や様々なイベントを通して社会に対して普及啓発していき、傷害の有無による差別や偏見を無くし、地域に住むすべての人々が互いに助け合い心穏やかに過ごせるよう普及啓発を行っています。

平成 22 年度

平成 23 年度

平成 24 年度

平成22年度 NPO法人アダージョちくき講演会

入場無料

精神障害者からのメッセージ！

私たちの日常  
～作業所ってこんなところですよ～

うつ病、統合失調症、パニック障害…  
町にも、メンタルクリニックが増え、身近に耳にするようになった「心の病」…でも、そういう病気になった人は、普段、どこで何をしているの？あまり見た事がないけど？  
そう疑問に思われたことはありませんか？  
心の病を抱えた人が、普段、何を考え、どういう気持ちで生活をしているのか？  
ご本人たちからの話を聞いてみませんか？

コーディネーター：吉田みゆき氏（同朋大学 社会福祉学部専任講師）  
出演：作業所スタッフ、当事者メンバー

■日時 平成23年3月19日（土）  
13：30～16：00（受付13：00より）

■会場 千種区役所講堂  
（名古屋市中千種区東五山通5丁目37）

主催：NPO法人アダージョちくき  
後援：千種区役所 千種区社会福祉協議会  
お問い合わせ：ワークルーム・ぐるっぺ 担当 富田優弘 Tel (052) 763-6088

疲れていませんか？  
あなたのところ

入場無料

「うつ病」の増加と変化について  
～その傾向と対策～

〇9月8日日本メディアアワードにて  
発表された最新の情報を基に、

講師 高木 宏先生  
（精神科医）

■日時 平成23年12月17日（土）  
13：30～15：30（受付13：00より）

■会場 千種区役所講堂  
（名古屋市中千種区東五山通5丁目37）  
〇地下鉄五山線五山通駅より徒歩3分  
〇定員150名

主催：NPO法人アダージョちくき  
後援：千種区役所 千種区社会福祉協議会  
お問い合わせ：ワークルーム・ぐるっぺ 担当 富田優弘 Tel (052) 763-6088

平成24年度 NPO法人アダージョちくき 精神保健福祉の啓発事業

講演会

メンタルヘルスの基礎知識  
～ストレス社会を健康に生きるコツ～

講師 富田 美佐緒 氏

カウンセリングオフィスうらら 代表  
精神保健福祉士  
日本産業カウンセラー協会認定 産業カウンセラー

期日：平成24年11月24日（土）  
時間：13：30～15：20（開場13：00）  
場所：千種区役所講堂  
（地下鉄「池下駅」2番出口 南50m）

入場無料  
先着150名

手話・要約筆記  
あります

タイムテーブル

1300 開場  
1305 開演  
1310 講演（「江崎さんの人権、ワークルームぐるっぺ」）  
1330 閉会  
1340 講演（「江崎さんの人権、ワークルームぐるっぺ」）  
1400 講演（「メンタルヘルスの基礎知識」）  
1500 閉会  
1520 閉会

（主催）NPO法人アダージョちくき （共催）千種区役所  
（後援）千種区社会福祉協議会、千種区障害者福祉自立支援協議会  
【お問い合わせ】 土曜さんさん 小池 TEL: 052-729-5533 E-mail: pmc@379hikine.jp

テーマ

「私たちの日常～作業所ってこんなところですよ～」

テーマ「『うつ病』の増加と変化について～その傾向と対策～」

講師：高木 宏 Dr

（県立城山病院精神保健指定医）

テーマ「メンタルヘルスの基礎知識～ストレス社会を健康に生きるコツ～」

講師：富田 美佐緒 氏

カウンセリングオフィスうらら代表

## 地域交流・社会貢献

地域の一員として社会貢献活動を行うことで、「自分たちが社会の役に立てることがあるんだ」「他者から必要とされている」という自尊心の回復と自信の向上を図ります。



◆千種公園ユリの球根植えボランティアへの参加◆

◆花☆花ふれあいまつり(乗西寺)への参加・協力◆

# 利用者さんの声



Aさん (40代男性)

僕は毎朝時間とおりにキッチリと事業所へ行くのが難しくて続かなかったのて  
ここで毎日決められた時間にもっちり通所できるように訓練しています。  
ここに来てからは、調子が悪くて外に出られなくなってしまう時期が丈夫になつたり、バザーなどに参加すること人ごみに慣れてきたりと良い訓練になっています。

初めは「寝過ぎたら」と思っ、寝る  
しどろもしいで作業所へ来たりしていた  
他人と話をする時に緊張して言葉が通じなかった。  
ここに来たからは、他人と喋る時に緊張が少なくなった。  
大勢の人がいっぱい行くのも調子が悪く、少なくなりました。



Bさん (30代男性)



Cさん (30代女性)

私は薬の副作用などもあり、朝起きてはいるのですが、  
お昼前までは身体があくうで外出などが辛いです。  
将来就職するためには、毎朝決まった時間に出勤しなければ  
ならないので、ここへ昼前から自分のペースで通所して  
訓練をしています。  
1年ほど通って、除々に朝起きる時間と通所できる日にちが  
増えてきました。





Dさん (60代男性)

ここへ通ってきて日  
 暮らなくなったような気が  
 する。お金のやりくり  
 もできるようになっ  
 たし。

ぐるっへをやめてしまうと平日がヒマに  
 なってだらけてしまうから調子が悪くなっ  
 てしまう。その防止と同じ病気の仲間が  
 いることで寂れはしない。幻聴の  
 ちんどもへって今までは、電車を  
 とちゅうで下りなければいけなかった  
 けどそれもへってました。



Eさん (50代男性)



Fさん (60代女性)

今年の9月1日、ぐるっへ通所は7年目になります。  
 私自身今年で60になります。去年10月ほど前の母の死は  
 きっかけでした。ぐるっへにまた行こうと思えたので乗り切  
 りました。ぐるっへにまた行こうと思えたので乗り切  
 りましたように思います。 ~~家族さん~~ ~~家族さん~~ ~~家族さん~~  
 という先ほはいい。安い言葉をかけていた。ありが  
 たりです。

## アクセス



### 市バス

- 市バス「東部医療センター」前下車 徒歩約 2 分

(東区、北区方面より) 地下鉄、JR 大曽根駅及び地下鉄砂田橋駅より

「東巡回系統」 乗車約 15 分

(守山区方面より) 「幹砂田 1 系統」 池下行 乗車約 30~40 分

池下駅下車から 徒歩約 10 分



### 名古屋市営地下鉄

- 「今池」駅及び「池下」駅下車 徒歩約 10 分

(名古屋市市営地下鉄桜通線、及び東山線)

就労継続支援 B 型事業所

**ワークルーム・ぐるっぺ**

〒463-0073 名古屋市千種区仲田 1 丁目 9 番 12 号

TEL・FAX 052-731-3070

e-mail [workroom.gruppe@gmail.com](mailto:workroom.gruppe@gmail.com)

U R L <https://adagiochikusa.jp/>